



## 令和5年度のCS・いそっこ事業を振り返る

コロナ禍も終息に向かい、今年度は、熱中症対策により、1つの事業は中止となりましたが、①北斗市夏まつり「上小騒乱」の参加協力②土曜授業「道徳教育」③土曜授業「地域から学ぼう！」の運営参画④夜間学校「バルーンパフォーマンス&ワークショップ」の運営参画⑤特別授業「福祉教育」⑥上磯中学校区CS「クリスマスコンサート」の協力⑦夜間学校「能登半島沖地震チャリティーコンサート」の運営参画⑧特別所業「がん予防教育」の協力と8つの事業を展開することができました。

地域のコミュニティとして、子供たちや保護者・地域の皆様が笑顔になる活動を行うことができたと思います。次年度もCS・いそっこの充実のため、保護者や地域の皆様に、たくさんの御参加と御協力をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

## 5・6年生対象の特別授業を支援しました！

学校運営協議会では、子供たちのより良い体験や経験、学校だけでは味わえない、専門家による特別授業を支援・協力しています。

### 『5年福祉教育』

11月28日(火)、「あすチャレ！ジュニアアカデミー(日本財団パラスポーツサポートセンター主催)」の協力のもと、パラアスリート永尾由美氏による特別授業(5年福祉教育)を実施しました。障がいがあってもなくても可能性に挑戦する大切さと、障がい者を交えたゲームを考える活動を通して、インクルーシブな発想を学びました。



### 『がん予防教育』

2月29日(木)、昨年度同様、函館協会病院薬剤科長篠田雅和氏を講師に迎え、6年生にがん予防教育を実施しました。

がんの種類やがんの原因となるお酒・たばこの知識、食事や睡眠、適度な運動など、正しい生活習慣が、がん予防につながることを学びました。

子どもたちはもちろん、参観した教職員も日常の生活習慣を見直す良いきっかけになりました。



## CS・いそっこ事業第2弾！

### 「能登半島沖地震チャリティーミニコンサート」盛況に終了

2月21日（水）に、CS夜間学校を開催しました。今回は、能登半島沖地震の被災者へ私たちができることを形にした、チャリティーミニコンサートを企画しました。

プログラムは、本校を卒業した津軽三味線奏者 斎藤まりなさんと、民謡歌手 檜森結衣さんをゲストに迎え、本校合唱部と吹奏楽部による演奏を披露しました。会場の体育館には、児童や保護者の皆様、地域の方々など、150名を超える盛況ぶりでした。

前半は、本校の合唱部員17名による合唱「遠い日の歌」をはじめ全2曲、次に吹奏楽部44名による演奏「ジャンボリミッキー」などをお届けしました。そして、後半はゲストによる津軽三味線と民謡による演奏でした。普段、触れることのないジャンルのプロによる演奏を間近で聴くことができ、大人だけでなく、子どもたちも大盛り上がりでした。

津軽三味線奏者の斎藤まりなさんは、上磯小学校吹奏楽部の出身であり、参加した子どもたちに“音楽のまち「ほくと」”で活動していることに感謝して、これからも音楽の素晴らしさを感じながら頑張してほしいとメッセージをくださいました。

この日、参観した皆様からいただいた義援金は総額35,645円でした。先日、下の写真のように澤田会長が北斗市長へ届けました。御協力ありがとうございました。



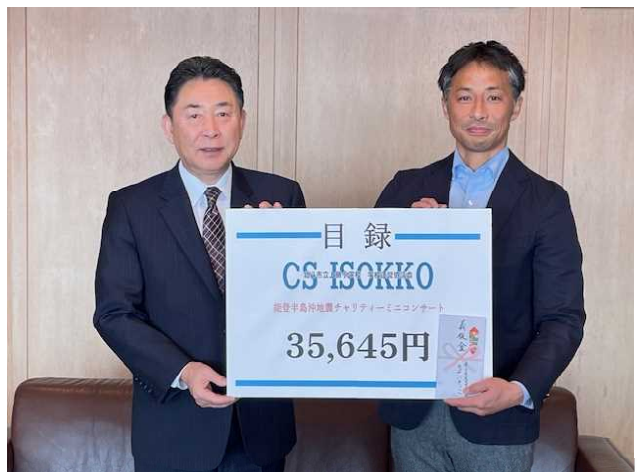
「きれいな歌声で会場を温かくした合唱部」



「ノリノリの曲でみんなを楽しませた吹奏楽部」



「圧巻の演奏で感動をくれた檜森さんと斎藤さん」



皆様からの善意を、北斗市に届けました。  
御協力ありがとうございました。